授業のIT化について



ー (情亮 員 (**3年**)

佐見 議中 【市長答弁】

世界中のさまざまな情報が得やす ネットのつながりも広くなって、 立ち上がりが早くなり、インター れています。それは、パソコンの くなったためでしょう。 最近は技術が進み、多くの場 場面でコンピューターが使わ

の節約にもなります。 の代わりとして使用すれば、 す。さらに、ノートやプリント でき、授業の効率がよくなりま 真などを一瞬で表示することが の生徒全員で、共通の資料や写 を活用すれば、先生とクラス内 ば、生徒一人一人がタブレット いくべきだと思います。例え 私は、これを授業に生かして 紙

使うこともできます。 きるため、辞書の代わりとして ターネットで検索することがで があったときには、すぐにイン また、何か知りたいことなど

や資源のムダを減らすことが可 このように授業の中での時間

> り環境のためになったりし 時代は、このような方法が ます。そして、これからの 将来、この流れに乗るため 主流になっていくでしょう。 能になり、効率をよくした にも、子どもの頃から慣れ

化を進めるべきだと思います。 います。そのため、授業のIT ておくべきなのではないかと思

のと考えられます。 値を持つ社会になってきてお り、この傾向は、さらに進むも 不可欠な資源と、同じような価 石油やガスといった日常生活に いますが、このように情報は、 言葉を、良く耳にすることと思 近年、高度情報化社会という

ると考えています。 ンを使って学習する時代」であ コンを学ぶ学習」から「パソコ ていますし、これからは「パソ ることが重要であると私も考え 情報化社会を生きていくために 佐見議員が言われるとおり、 早くから、この環境に触れ

中学校のパソコン教室のパソコ るノートパソコンに入れ替える るよう、タブレット型にも使え ンをパソコン教室以外でも使え そのようなことから、今年度

> ていただきたいと思います。 ので、佐見議員も大いに活用し らは使用できるようになります こととしました。今年の9月か

【教育長答弁】

考えています。 達した社会でしっかりと生きて Tを使いこなす力とICTが発 のお話は、その通りであると考 すべきであるという、佐見議員 なります。ICTを授業に生か ルを身に付けていただきたいと いってもらうための、情報モラ を生きていく皆さんには、IC **えます。これからの情報化社会** あり、そこにコミュニケーショ ンのCを加えたものがICTに ITとは「情報技術」の略で

教室、時には屋外でも使用する だけではなく、普通教室や特別 ことが可能になります。 ます。これからはパソコン教室 たとおり、市内中学校のパソコ ン教室の機器の入れ替えを行い 市では、市長から答弁があっ

子黒板も各校3台追加で導入す る予定でいます。 いや学び合いが行えるよう、電 ソコンを活用しながら、 また、教室でタブレット型パ 話し合

極的に取り組んでいきたいと考 すので、市内の各小中学校で積 くことは、重要なことでありま 授業の中でICTを活用してい 佐見議員が言われたとおり、

も大切ですが、昔から変わらず大 切にされてきた教科書やノートを

えています。

使いこなす力も大切です。 しかし、ICTを使いこなす力

ることなく、常に「真実は何か」 べてが正確な情報とは限りませ きますが、手に入れた情報のす 量の情報を手に入れることがで することにより、一瞬にして大 ん。不確かな情報におどらされ また、インターネットで検索

たいです。 しっかりと身に付けていただき

ネットやメールの発達によっ で生きるための情報モラルを めにも、ICTが発達した社会 の被害者・加害者にならないた 発生しています。こうした事件 やメールによるいじめの問題も て、中学生が被害者となる事件 める力も大切です。 という態度で情報の真偽を見極 さらに、最近ではインター

市 の児童・生徒への援助について



質問

について質問します。 市からの児童・生徒への援助

診療を受けた費用などについて いう話を聞きました。 検診などで悪いところがあった するまでの間、視力検査や歯科 ように勧告され、その際病院で 人は、学校の方から病院に行く 龍ケ崎市では、 市から援助が受けられると 中学校を卒業

進んでおり、何らかの対策が必 つくばみらい市でも少子化が

和田 千尋 議員 (伊奈東中 3年) しょうか。 することができるのではないで どの援助をすれば、市内の その対策の1つとして、龍 要ではないかと思います。 若い夫婦の皆さんも安心し いまでの子どもに医療費な ケ崎市のように中学生ぐら て子どもを産み、子育てを

えてください。 方と今後の取り組みについて教 市の児童・生徒への援助の在り そこで、現在のつくばみらい

【市長答弁】

度でありますが、基本的には、 広く一般的に「マル福」と呼ば かった医療費を市が援助する制 業するまでの間、病院などでか 市で実施している、中学校を卒 大和田議員ご質問の、龍ケ崎